



MX-23 FLUXBOX マニ ュアル

目次

1. はじめに.....	1
2. MX-Fluxboxのデフォルトセットアップ.....	2
2.1 デスクトップのアイコンについて.....	3
2.2 ドック.....	4
2.3 コンキー.....	4
2.4 tint2パネル.....	5
2.5 rootMenu（ルートメニュー）.....	6
3. Fluxboxの詳細.....	7
3.1 スタイルズ.....	7
3.2 テーマ.....	8
3.3 壁紙.....	8
3.4 キーショートカット.....	8
3.5 メニューの管理.....	9
3.6 テキストファイル.....	10
3.7 オーバーレイファイル.....	10
3.8 ウィンドウの設定とコントロール.....	11
3.9 端子類.....	11
3.10 画面オプション.....	11
4. 従来のFluxbox.....	12
5. FAQ-ファインダー.....	13
6. リンク集.....	15

1. はじめに

このヘルプ文書は、インストール、設定、ソフトウェア管理など、MX Linuxの一般的なトピックをカバーする**ユーザーズマニュアル**（Shift+F1）を補足するものです。

MX Fluxbox (=MXFB)は、MX Linuxの最小または「ベース」バージョンであり、そのまま使用することができます。設計上、他のMX-Linuxバージョンに自動的に含まれるすべてのソフトウェアが含まれていません。しかし、追加のソフトウェアは、MXパッケージインストーラーを使用して、以下のボタンをクリックして簡単にインストールすることができます。

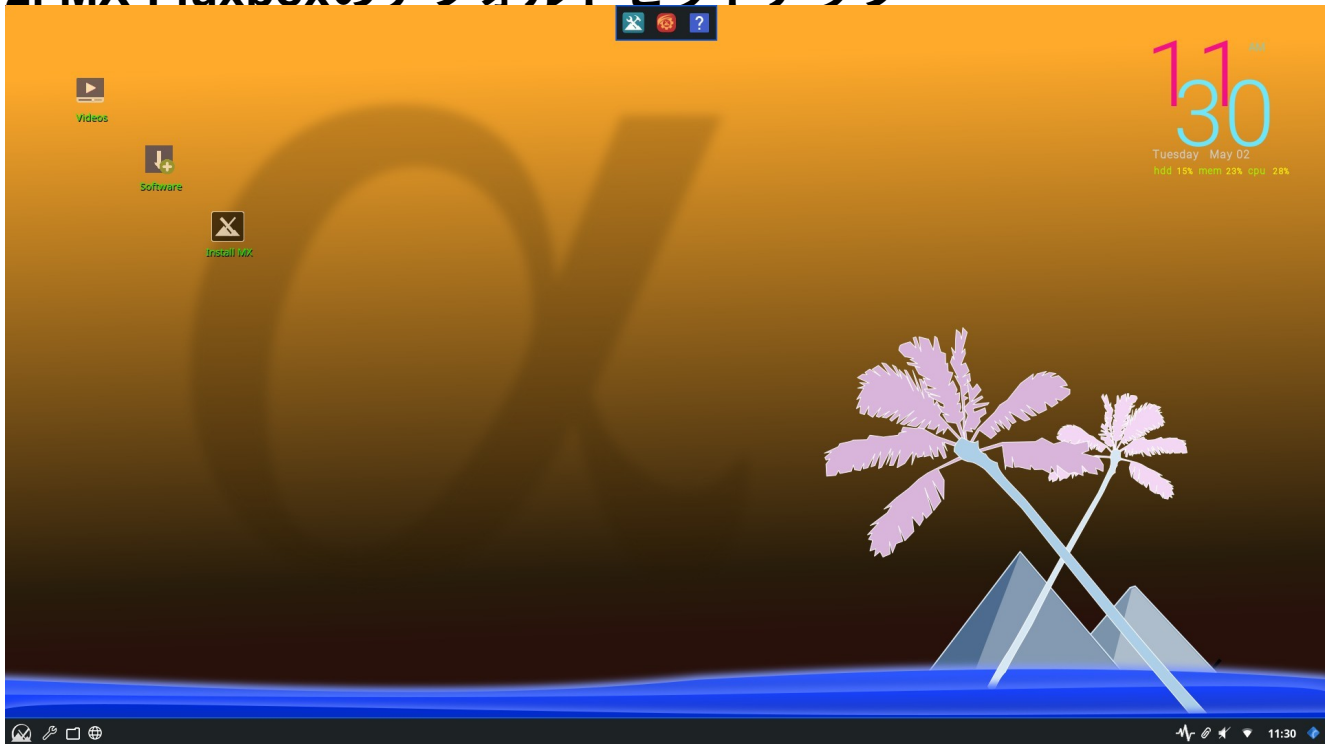
をクリックすると、デスクトップの「ソフトウェア」アイコンが表示されます。ここでは、オフィススイート（LibreOffice）や洗練されたグラフィックエディター（Gimp）など、多数のアプリケーションを見つけ、インストールすることができます。

MXFBは、その名の通り、ウィンドウの配置や外観を制御する[ウィンドウマネージャとして Fluxbox](#)を採用しています。その小さなメモリフットプリントと迅速なロード時間は、低リソースシステムで非常に効果的で、高レベルのマシンでは非常に高速です。

MXFBは2つの基本構成で動作し、その間に多くのバリエーションが可能です：

- Fluxboxの基本コンポーネントを含むが、便利なグラフィカルアプリを使用するMX Linuxの好みに従った「**デフォルト**」。
- **Fluxbox（フラックスボックス）** は、デフォルトの構成から様々なコンポーネントをクリックや2回の操作で追加することができます。

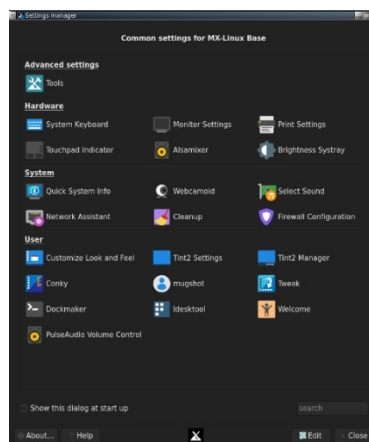
2. MX-Fluxboxのデフォルトセットアップ



左上から時計回りに、主要なコンポーネントを紹介します：

- 1 デスクトップアイコン (2.1項)
- 2 ネイティブドック (2.2項)
- 3 コンキー」と呼ばれるシステム情報表示 (2.3項)
- 4 クリエイティブなtint2パネル (2.4項)
- 5 隠されたFluxboxの「rootMenu」 (2.5項)。

ドック (中央の赤いアイコン)、パネル (レンチのアイコン)、ルートメニューから選択できます。



デスクトップアイコンやドックアイテムの他に、以下のいずれかのツールでアプリケーションを起動することができます：

- パネルのスタート（MXロゴ）ボタンをクリックすると、アプリ「rofi」を使ったメニューが表示されます（詳細は[Wiki](#)で）。
- デスクトップを右クリックします：メニュー> すべてのアプリでDebianのようなカテゴリメニューが表示されます。
- キーボードのロゴキー（WindowsまたはAppleのアイコン）をクリックすると、便利なプロパティが表示されるアプリ一覧メニューが表示されます。
- Ctrl+F2をクリックすると、実際のプログラム名の小さな実行ウィンドウが表示され、必要に応じてShift+Enterでターミナルを起動できます。

以下のセクションでは、各主要コンポーネントの使用法と管理方法について、基本的な理解を深めていただくことを目的としています。**注意事項1)** チルダ記号「~」は、ユーザーのホームフォルダへのショートカットです（例、`/home/demo`）；**2)** 「メニュー」とは、デスクトップ上で右クリックすると表示されるrootMenuのことです。

2.1 デスクトップのアイコンについて

隠す：メニュー>見えないところ>アイコンの切り替え
削除（アイコン）：アイコンを中クリックするとiDesktoolが起動します。
停止：メニュー>見えないところ>iDeskの管理を切り替えます：メニュー>外観>デスクトップアイコン **ヘルプ：**[Wiki内](#)

デスクトップアイコンは、MX Linuxの開発者とユーザーが**iDesktool**に適合、近代化、拡張した、現在は保守されていない古いツール、iDeskによってMXFBで有効になっています：メニュー>[外観]>[デスクトップアイコン]。

このツールは、MX-Fluxboxでのデスクトップアイコンの使用を非常に容易にするものです。非常にわかりやすいので、使用上の疑問はほとんどないはずです。

ここでは、デフォルトの「ビデオ」アイコンを例に、デスクトップアイコン（`~/.idescrc`に設定）の基本的なマウス操作について説明します：

アクション	マウス	例
実行する	左シングルクリック	MXFB YouTubeチャンネルに開設
alt を実行す	右シングルクリック	アクションメニューを開く

る		
管理する	中（スクロールボタン）シングルクリック	アイコンにフォーカスしたiDesktoolを開く
ドラッグ	左クリックでホールド、離すとストップ	

2.2 ドック

隠す：メニュー＞見えないところ＞ドックの自動非表示を切り替える

削除/追加 (Dockアイテム) : メニュー>外観>ドックメーカー
停止 (デフォルトのドック) : メニュー>見えないところ>デフォルトのドックを無効にする
管理する: メニュー> 外観> ドックメーカー
ヘルプ: [Wiki内](#)

MXFBにはDockmakerというネイティブアプリがあり、ユーザーが簡単にドックを作成、変更、管理することができます。ユーザーが初めてログインすると、デスクトップの上部に小さなドックが表示され、その設定は `~/fluxbox/scripts/DefaultDock.mxdk` で設定されています。

このデフォルトDockには、以下の項目が含まれています (左から順に) :

- MXツールズ
- 設定マネージャー
- ヘルプ (本マニュアル)

注: tint2をドックとして使用することもできます。いくつかの例は、Tint2マネージャを使用して見つけることができます。

2.3 コンキー

非表示にするメニュー>見えないところ>

Toggle conky **削除 (conky) します:** *Menu > Appearance > Conky* **Stop:** *Menu > Out of sight > Toggle conky* **Manage:** メニュー>外観>コンキー

ヘルプ: ウィキにて: [MXコンキー](#)、[コンキー・マネージャー](#)

MX-Fluxboxユーザーは、MX LinuxのデフォルトのコンキーセットであるMX Conkyを、メニュー> 外観> Conkyをクリックして表示し、そこからConky Managerを起動するか、いずれかのメニューから利用することができます。Conky Managerは基本的な管理方法として便利ですが、MX ConkyはカラーマニピュレーションなどMX Linux独自の高度な機能を提供します。

Conky Managerでは、以下の簡単な手順でコンキーを編集、表示、表示することができます:

- それぞれのコンキーをハイライトし、プレビューを押して、どのように見えるかを確認します。プレビューは必ず閉じてから、別のプレビューに移ってください。

- 設定アイコン（歯車）をクリックすると、位置情報などの基本プロパティを変更できます。
。
- 使用したいコンキーをチェックボックスで選択します。自動でインストールされます。
- 設定ファイルは、フォルダ ~/.conky/ に個々のテーマファイルとして格納されています。これらは、一覧でコンキーをハイライトして編集アイコン（鉛筆）をクリックすることで、簡単ではありませんが、編集することができます。

より複雑なコンキーを使用する場合は、コンポジターを使用する必要があります。メニュー
」→「設定」→「コンフィグ」→「スタートアップ」をクリックし、コンポジターに関する
行のコメントを解除して、次のようにします: *compton &*

2.4 tint2パネル

隠す: メニュー>見えないところ>パネルの自動非表示を切り替える

削除する: 手動: `~/config/tint2/`から設定ファイルを削除する。

停止: 手動: 「スタートアップ」ファイルの行の前にコメント (#) を付ける

管理する設定マネージャー>Tint2 マネージャー

ヘルプ: [Wiki内](#)

オリジナルのFluxboxツールバーは、今日のユーザーが期待する機能・デザインとは大きく異なっています。そのため、MX-Fluxbox 2.2からは、"tint2"として知られる高度に設定可能なアプリを使用して、代替の「伝統的」ツールバーが追加されています。(両者を切り替えて使用することができます: メニュー> 外観> ツールバー> *Fluxbox/Traditional*)

パネルを変更するには、スタートボタン横のランチャアイコン、ドックのギアアイコン、またはメニューのリストをクリックします。これにより、設定マネージャが起動します。"Tint2 マネージャ"をクリックすることができます。

MXFBは、非常に異なる設定を提供しますので、お試しください。

既存の設定を選択するだけでなく、パネルの要素を変更することも可能です-実際、これは tint2を使用する大きな楽しみの1つです。グラフィカルなエディタを使用する場合は "Config" ボタンを、設定ファイルを直接編集する場合は "Edit" ボタンをクリックします。

グラフィカルエディターには、2つのアプリケーションがあります:

- "テーマ"は、ユーザーの場所にあるすべてのtint2設定と、インストール時に持ち込まれたいくつかの他の設定を表示します。
- "Properties"には、実行中のコンフィグの機能が表示されます。「プロパティ」ウィンドウが表示されていない場合は、左上の小さな歯車のアイコンをクリックしてください。

ここでは、「プロパティ」ウィンドウの一般的な操作方法を紹介します:

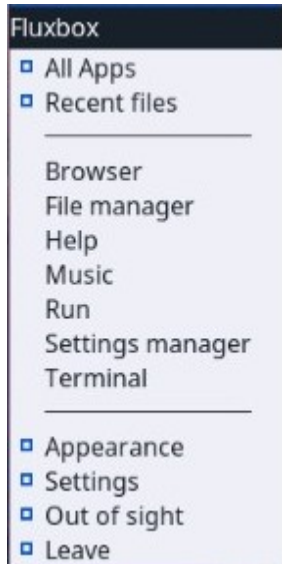
- ランチャーを追加・削除する左側の「ランチャー」エントリーをクリックします。右側のパネルには2つの列があり、左側には現在ツールバーに表示されているアプリケーションのアイコンのリスト、右側にはインストールされているすべてのデスクトップアプリケーションのリストが表示されています。矢印を使用して、項目を上下に移動します。
 - **追加:** 右列のリストから必要なアプリケーションを選択し、中央の「左矢印」アイコンをクリックし、「適用」ボタンをクリックすると、瞬時にツールバーに追加されます。
 - **取り外し:** 逆の手順で行います。

- パネルを移動したり、サイズを変更したりする。左のパネルで「パネル」の項目をクリックし、右のパネルでその配置とサイズを選択します。適用」ボタンをクリックします。また、ここでスクロールダウンして、必要に応じて「自動非表示」にチェックを入れることができます。
- 時間／日付のフォーマットに変更する。左のパネルにある「時計」の項目をクリックし、「1行目の形式」または「2行目の形式」のフィールドを好きなものに変更します。例えば、24時間表示の場合は、"%I "を"%H "に変更します。[Wikiにあるコード](#)。

注：設定を変更する前に、現在の設定をバックアップしてください： ~/.config/tint2/tint2rc をクリックし、"tint2rc_BAK "などの新しい名前で作成します。その後、バックアップファイルからカスタマイズしたすべての行を、新しいtint2rc設定の正しい場所にコピーすることができます。

2.5 rootMenu (ルートメニュー)

ルートメニューはデフォルトで非表示になっており、多くの機能や設定に素早く簡単にアクセスできるようになっています。



必要)

表示: デスクトップ上で右クリック

(メニュー項目を)削除/追加する: メニュー>設定>設定>メニュー

停止: *init* ファイルの *session.menuFile* で始まる行の前に、コメント (#) を入れる:

管理する: メニュー>設定>設定>メニュー
ヘルプ 3.5 項とリンク

短いメインメニュー (`~/.fluxbox/menu-mx`) には、`~/.fluxbox/submenus` にある3つのサブメニュー (外観、設定、見えないところ) が組み込まれています。

ルートメニューは、3つのセクションに分かれています:

- トップ
 - すべてのアプリ: Debianのようなカテゴリ別メニューです。パッケージインストーラーを使用する場合は自動的に更新されます。それ以外の場合は必要に応じて更新をクリックしてください。
 - 最近使ったファイル: 最近使ったファイルが表示されます (「更新」をクリックした場合)
- 中段: よく使うアプリを直接開くためのリンク集
- ボトム
 - 外観
 - コンキー
 - せんきょ
 - デスクトップアイコン
 - モニター: 小型システムモニター
 - スタイル: ウィンドウ、ツールバー、メニューのデコレーション
 - テーマ: GTKテーマ (ウィンドウズ、アイコン) を設定する。
 - ツールバー: ツールバーとパネルのどちらかを選択
 - 壁紙: 回転、ワークスペースごとの分離、選択
 - 設定方法
 - バックアップ
 - `configure`: メニューやスタートアップなどFluxboxのファイル。
 - ディスプレイ: ディスプレイパラメーターの変更、保存方法のヘルプ

- キーボード: 11種類の言語に素早く切り替えられる。
- 見えないところ: 要素を隠すための便利なコマンド集
- 残す:
 - refresh: 設定ファイルを変更した後、ログアウトしていない場合に fluxbox を再起動するために使用します。
 - サスペンド
 - ログアウト
 - リブート

- シャットダウン

新しいユーザーは、その内容、パワー、スピード、柔軟性を理解するために、そのメニューに取り組んでみるのがよいでしょう。特に魅力的なのは、これらのメニューが読みやすく、完全にユーザーのコントロール下にあることです。

DRAFT

3. Fluxboxの詳細

3.1 スタイルズ

Fluxboxのスタイルは、ウィンドウ、ツールバー、メニューの装飾方法を指示するシンプルなテキストファイルです。MXFBには、`/usr/share/fluxbox/styles/`にある多数の定義済みスタイルが同梱されており、メニュー>外観>スタイルで選択することができます。また、`"fluxbox styles"`でウェブ検索すれば、さらに多くのスタイルをオンラインで見つけることができます。

広い意味でのスタイルは、テーマや装飾、アイコンの組み合わせと考えることができます。自分好みのスタイルを設定するためのツールはたくさんあります。

- **MX Tweak**> Stylesタブでは、これらの要素をテストして選択したり、自分自身の特定のテーマに組み合わせることが簡単にできます。
- **MXFB Look**は、さらに詳細なオプションを提供し、グラフィック機能の特定のコレクション（「ルック」）に含めることができ、保存することができます。
- **MX Comfort**ツールは、デフォルトのMX-comfort fluxboxスタイルの色を編集し、新しいスタイルとして変更を保存することができます。既存のfluxboxスタイルを手動で編集したい場合は、スタイルを`~/.fluxbox/styles`にコピーして名前を変更し、変更を加えます（下記のリンクにあるUbuntuスタイルガイドを参照してください）。
- アイコンやレイアウトを決定できる「**Exit Options Manager**」。

スタイルには背景画像を含めることができますが、MX-Fluxboxではデフォルトでメニュー>設定>設定>オーバーレイでトップラインでブロックされています。スタイルで背景を決定できるようにするには、次のようになるように、ラインに対してハッシュマークを前面に配置します：

!次の行は、スタイルが背景を設定しないようにするためのものです。

#background: none

3.2 テーマ

GTKテーマは、パネルの色、ウィンドウやタブの背景、アイコン、アプリケーションがアクティブなときと非アクティブなときの見え方、ボタン、チェックボックスなどの項目を制御します。テーマは、非常に暗いものから明るいものまであります。

MX-Fluxboxのデフォルトテーマは、MX-Comfortと呼ばれています。デスクトップ上で右クリッ

クしてメニュー>外観>テーマを表示させ、テーマ、アイコン、フォントなどのセレクト（設定マネージャ：外観のカスタマイズ）を表示させ、他の可能性を見て選択することが非常に簡単にできるようにすることで変更できます。MX-Tweakはそれをも可能にしています。

3.3 壁紙

まず、オーバーレイファイルが背景を決定するスタイルをブロックしていることを確認します。次に、メニュー>外観>壁紙>選択をクリックし、利用可能な選択肢を確認します。メニュー項目からポップアップするリストには、ユーザー背景（`~/fluxbox/backgrounds`）およびシステム背景が含まれます。

(`/usr/share/backgrounds`)を横線で区切って配置します。この設定により、ユーザーフォルダ内に背景を追加し、メニューから選択できるようになります。

3.4 キーショートカット

Fluxboxは、ユーザーがキーの組み合わせをショートカットとして設定することができます。設定した内容は、ファイル

`~/.fluxbox/keys` にアクセスし、Menu > Settings > Configure > Keys で編集することが可能です。

いくつかのキーに使われている名前は、ちょっとわかりにくいですね：

- Mod1 = Alt
- Mod4 = ロゴキー (Windows、Apple)

詳細：<http://fluxbox.sourceforge.net/docbook/en/html/c296.html>

MX-Fluxboxには専用のファンクションキーの組み合わせがあります（キーファイルの先頭を参照して変更してください）：

- Ctrl+F1です：MX-Fluxboxのドキュメント
- Ctrl+F2：クイックアプリのランナー「[rofi](#)」を使ってコマンドを実行。ターミナル入力が必要なコマンドを入力する場合は、Ctrl+Enterを使用します。
- Ctrl+F3：ファイルマネージャー
- Ctrl+F4：ドロップダウン・ターミナル
- Ctrl+F5：MX ツール

ファンクションキーは、アプリによる使用との競合を避けるため、修飾子「Ctrl」を付けてプログラムされています。

3.5 メニューの管理

メインメニュー（パネル上のMXアイコン）

メインメニューは「appfinder」というrofiのコンフィグ（`~/.config/rofi/themes/appfinder/XX`）が元になっています。[ADD] です。]

ルートメニュー

ルートメニューの要素を変更、追加、並べ替えすることができます。ルートメニューのサブセクションは、別のアクティブメニューとしてドラッグして移動することができます。（タイトルバーを左クリックしたまま）。

メニュー>設定>設定>メニューで、編集したいメニューファイルを開きます。

（メインメニューとサブメニューの「外観」「設定」「視界外」はすべて別ファイルです）。

構文は次の通りです: [カテゴリ] (名前) {コマンド} - 括弧、括弧、中括弧は必ず正しく使用してください。

例1: 「音楽」をDeaDBeeFではなくClementineを開くように変更する

- Music という単語がある行を探す (必要なら Ctrl+F
を使う) [exec] (Music) {deadbeef}.

- コマンド部分の "deadbeef" をダブルクリックして反転させ、"clementine " と入力して保存すると、このような結果になります：

[exec] (音楽) {clementine}。

- メニュー → 「放置」 → 「更新」 をクリックし

て新しい設定を使用する 例2: メニューにSkypeを追加する

- どこに表示させるかを決めます。この例では、共通アプリのセクションに「コミュニケーション」という新しいカテゴリーを追加することにして、そこに入力します。
- サブメニューコマンド（下記参照）を使ってカテゴリーを作成し、新しい行を導入して、次のパターンに従います： [exec] (メニューエントリ) {command}。
- 結果は次のようになります： [サブ

メニュー] (コミュニケーション)

[exec] (Skype) {skypeforlinux}。

[終]

- メニュー > 放置 > リフレッシュ

注：2番目の例でわかるように、使用するコマンドは必ずしも明らかでない場合があります。

すべてのアプリ (rootMenu)

メニューは、アプリのデスクトップファイル（/usr/share/applications内）に記載されているカテゴリラベルを使用して構造を設定します。このメニューに含まれる項目は、デフォルトではアップデートプログラムを実行するたびにリフレッシュされます。この動作は、MX Tweak > Fluxbox > Update existing menu entries のボックスをチェックすることで変更できます。その後、一番下のメニュー項目 "Update" を使用することが可能です。

このメニューを削除するには、まずメニュー > 設定 > 設定をクリックし、メニューに表示されないようにセクションを削除してください。次に、ターミナルでこのコマンドを使用してアップデートトリガーを無効にします：

```
sudo rm /etc/apt/apt.conf.d/00exectmp
```

3.6 テキストファイル

すべての基本的な設定は、わかりやすいフォーマットの[テキストファイル](#)で制御されています。設定ファイルの編集を始める前に、現在の設定をバックアップしておく必要があります。ファイルマネージャーThunarで設定ファイルをクリックして開き、File > Save asでファイル名を変更します（例: "filename_BAK"）。万が一、問題が発生した場合は、いつでも以前の設定に戻すことができます。

これらの設定ファイルを編集する際、該当する行をコメントアウトする（行頭にハッシュタグ#を付ける）だけで、個々の設定が適用されないようにすることができます。

例えば、以下のような感じです：設定A：この行は
Fluxboxに読まれる # 設定B：でもこの
行は読まれない

3.7 オーバーレイファイル

Fluxboxでは、オーバーレイファイルによって、システムフォント、xxx,xxxなどの設定をグローバルにオーバーライドすることができます。これらのオーバーライド設定は
~/.fluxbox/overlay というファイルに保存され、Menu > Settings > Configure > Overlay で編集できるようにアクセスできます。

オーバーレイファイルで定義された要素設定は、FLUXBOXセットアップの他の場所で定義された設定をオーバーライドします。例えば、オーバーレイファイルのフォント設定は、現在のfluxboxスタイルで定義されているフォント設定をオーバーライドします。

テーマ・セレクトアを使用して、テーマやスタイルで使用するフォントを調整することができます。より詳細な制御は、~/.fluxbox/overlay ファイルを使用することで可能です。例えば、この一連のコマンドは、テキストを全体的に大きくするために試されるかもしれません：

```
# フォント-----
menu.frame.font: PT Sans-12:regular
menu.title.font: PT Sans-12:regularツールバー・ク
ロック・フォント: PT Sans-11:regularツールバー
.workspace.font.Font: PT Sans-11:regularツールバ
ー.iconbar.focused.font.PT: PT Sans-11:regular
toolbar.iconbar.unfocused.font: PT Sans-11:regular
toolbar.iconbar.unfocused.font: PT Sans-11:regular
のwindow.font: ラト9
```

その他のフォントオプションについては、本書末尾の「リンク集」をご参照ください。

3.8 ウィンドウの設定とコントロール

ウィンドウの表示や動作に関するFluxboxの様々な設定は、メニュー > 設定で行うことができます。

> Configure (設定) > Window (ウィンドウ) です：

- フォーカスモデル：ウィンドウフォーカスのオプション
- 最大化オプション：最大化したウィンドウの処理方法について
- タブオプション：タイトルバーへのタブの表示・非表示、タイトルバーへのアイコンの表示・非表示
- 透明度：フォーカス、非フォーカスWindowsおよびルートメニューの設定（左クリックで値が小さくなり、右クリックで値が大きくなる、0=透明、255=不透明）
- 不透明ウィンドウの移動：オン/オフの切り替え
- ワークスペースのワーピング：オン/オフの切り替え
- スリット
- ツールバー

ウィンドウの移動と調整は、様々なキーとマウスの組み合わせで操作可能です。

- サイズを変更する変更したい角の近くでAlt+右クリックし、ドラッグします。
- 移動：Alt+左クリックでドラッグ。
- スティック：左上の小さな四角を使うと、ウィンドウを現在のデスクトップに限定することができます。
- オプション：ウィンドウの上部にあるツールバーを右クリックする。特に価値があるのは、サイズと場所を記憶するように選択する機能です（`~/.fluxbox/apps`に記録されています）。

- タブ: あるウィンドウのタイトルバーをCtrl-クリックしたまま、別のウィンドウにドラッグ&ドロップするだけで、複数のウィンドウを上部にタブがある1つのウィンドウにまとめることができます。逆の手順で再び分離させることができます。
- ウィンドウをタイトルバー（「シェード」）に縮小する: タイトルバーをダブルクリックする

3.9 端子類

- Ctrl+F4 = ドロップダウンXfce4-terminal
- メニュー>端末: 優先端末

3.10 画面オプシオン

- ブライトネス設定マネージャー>ツール>明るさのシストレ
- キャプチャ: mxfb-quickshot。通常、Print Screen (AKA Print, PrtScなど) キーでトリガーされるが、他のキー (Ctrl+Q など) をキーファイルに記述することも可能である。
- タイリング: キーファイルの下部に2つのコマンドのセットが記載されています。
- 解像度です: メニュー>設定>ディスプレイ (arandr)。変更した内容を保存する方法については、必ず「ヘルプ」ファイルをお読みください。

4. 従来のFluxbox

このセクションでは、従来のFluxboxのセットアップを実行したいユーザーを対象としています。

どのように始めればいいのでしょうか？

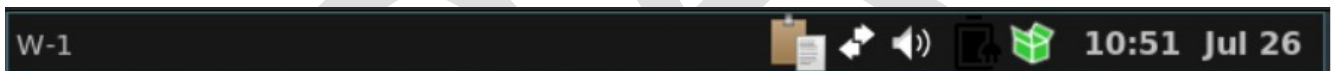
従来のFluxboxのセットアップを復元するのはとても簡単です。デスクトップ上の任意の場所で右クリックすると、デスクトップメニュー（rootMenu）が表示され、使用することができます。次のような変更を指先で操作できます：

- ・ 設定＞ツールバー＞Fluxbox：従来の（tint2）パネルが消え、画面上部にFluxboxツールバーが表示されます。
- ・ アウトオブ眼中＞キルドック※。
- ・ アウトオブ眼中＞キルコンキー※を殺す
- ・ 視界不良＞iDeskとアイコンの切り替え※を行う。

***rootMenuで開く** ファイルの該当行をコメントアウト（#）してください。
設定」→「構成」→「スタートアップ」で、このように表示されます：

```
# $HOME/.fluxbox/scripts/DefaultDock.mxdk
# $HOME/.fluxbox/scripts/conkystart
# idesktoggle idesk on 1>/dev/null 2>&1 &。
```

それでは、変更されたデスクトップの見方と使い方を説明します：



上部の横のツールバーは何ですか？

このfluxboxツールバーは、MXユーザーにワークスペース、開いているアプリケーション、システムトレイ、および現在の時間に関する情報を提供します。幅と配置は、ツールバーの時計またはページャーを中クリック（＝スクロールホイール）することで利用できるオプションで設定できます。高さは ~/.fluxbox/init/ で設定します：

```
session.screen0.toolbar.height: 0
```

ゼロがある場合は、選択されたスタイルで高さが設定されることを意味します。それ以外の場合は、20から25の値が快適であることが多いようです。

ツールバーには、以下のデフォルトコンポーネントが含まれています（左～右）：

ペイジャー

- ワークスペースを上（右クリック）または下（左クリック）に切り替えることができます。Control + F1/F2/ など、Ctrl-Alt + ←/→ またはデスクトップの空の部分にスクロールホイールを使って切り替えるのと同じです。番号と名前は、`~/.fluxbox/init` で設定します。"W "は "ワークスペース "の略です。デフォルトでは使用されていません

アイコンバー

- ここでは、開いているアプリがアイコンで表示され、関連するアイコン（ツールバー自体を含む）>アイコンバーモードを右クリックすることで様々なウィンドウオプションが利用できます。MX-Fluxboxのデフォルトは、「すべてのウィンドウ」を表示します。

システムトレイ

- XfceのNotification Areaに相当する。デフォルトのコンポーネントは `~/.fluxbox/init` に設定されます。systemtray オプションを持つアプリは、起動時にそこに表示されます。

クロック

- 時計を12hまたは24hに合わせるには、右クリックして表示される方の12hまたは24hをクリックします。それでもうまくいかない場合は、"時計の形式を編集する"を選択します。
- 24時間: `%H:%M`、12時間: `%I:%M`。
- デフォルトは12時間で、日付は日/短月形式: `%I:%M %b %d`です。その他の多くの時間/日付オプションは、[Wiki](#)で見つけることができます。

デフォルトでこのように設定されている `~/.fluxbox/init/` のツールバーコンポーネントを移動または削除することができます:

ワークスペース名、アイコンバー、システムトレイ、時計

ツールバーをWindowsなどのレガシーシステムに近づけるにはどうしたらいいのでしょうか?

メニュー」→「外観」→「ツールバー」→「トラディショナル (tint2使用)」をクリックします。

スリットについて読んだことがあるのですが、それは何でしょうか?

スリットはもともと[dockapps](#)のコンテナとして考案されたものですが、MXFBでは主にドックに使用されています。デスクトップ上の様々な場所に配置することができます:

- 左上、中央、右上
- 左中央、右中央
- 左下、中央下、右下

このターミナルコマンドで、dockappsのデフォルトリポジトリを検索することができます:

```
apt-cache search dockapp
```

レポで入手できるものは、うまく動作しないものも多いかもしれませんが、見てみる価値はあると思います。

apt-cache で検索しても見つからない、非常に興味深く便利な dockapp のひとつが、MX-Fluxbox にデフォルトでインストールされているモニタスタック [gkrellm](#) です。メニュー

> システム > モニターをクリックすると利用でき、多くの設定オプション(上部のラベルまたはチャートの1つを右クリック)、[多くのスキン](#)、[多くのプラグインを備えています](#)。いくつかのスキンはデフォルトでインストールされており、Shift-PageUpをクリックすることで確認・選択することができます。

5. FAQ-ファインダー

どうしたらいいんだろ う...	デスクトップから	アプリ付き
rootMenuを開く	デスクトップ上で右クリ ック	
オーブンプログラムX	rootMenu > すべてのアプ リ	
	クリックMXロゴ (アプファインダー)	
	Windows/Appleキーを押す ロフ	
新しいアプリをインス トールする	ソフトウェアアイコン	MXパッケージインストーラー
デスクトップのアイコ ンをトグルする オン/オフ	rootMenu > 見えないとこ ろ > トグルiDesk	
に変更します。 コンキー	コンキーマネージャー	
	rootMenu > 外観 > です。 コンキー	
Conkyのオン/オフの切 り替え	rootMenu > 見えないとこ ろ > トグルコンキー	
別のパネルを選択する		設定マネージャー > tint2manager
パネルを編集する		ティントツーセッティングズ
Dock内のアイテムを編 集する	rootMenu > 外観 > です。 ドックメーカー	
	ロフィードックの場合 > ロフィードック マネージャー	

外観を変更する ウィンドウ タイト ルバーとFB-Menu	rootMenu > 外観 > です。 スタイル	
外観を変更する	rootMenu > 外観 > です。	設定マネージャー > ルック & フィールのカ スタマイズ
ウィンドウの内容、ア イコンです、 フォント	テーマ	
	MX-Tweak (エムエックス ・トゥイーク	
壁紙の変更	rootMenu > 外観 > です。 壁紙	窒素
編集キーショートカッ ト	rootMenu > 設定 > 設定 > キー	
ルートメニューを編集 する	rootMenu > 設定 > コンフィグレーション > メニュー	
デスクトップアイテム の削除	rootMenu > 見えないところ >	
ターミナルを開く	rootMenu > ターミナル	Xfce4-terminalまたはその他の推奨ターミ ナル

6. リンク集

manファイル（ターミナルまたは<https://linux.die.net/man/>）：

- フラックスボックス
- フラックスボックスキー
- フラーン
- ふわもコストイル
- フラックスボックスリモート

<http://fluxbox.sourceforge.net/docbook/en/pdf/fluxbook.pdf>

基本ハンドブック、やや古いがまだ使える。

<https://bbs.archlinux.org/viewtopic.php?id=77729> 例

を挙げての一般的な解説が良いものがある

<https://wiki.archlinux.org/index.php/Fluxbox> い

くつかのコマンドは Arch 固有のものです

<https://wiki.ubuntu.com/HowToFluxboxStyles>

<https://ubuntuforums.org/showthread.php?t=617812> フ

ラックスボックスキーに関する優れたスレッド

<https://wiki.debian.org/FluxBox>

<https://wiki.debian.org/FluxboxIcon>

<http://fluxbox.sourceforge.net/docbook/en/html/chap-tabs.html> ウィン

ドウのタブを表示する。

<https://github.com/jerry3904/mx-fluxbox>

MX-FluxboxのGitHubレポです。

<https://mxlinux.org/wiki/help-files/help-mx-fluxbox/>

MX-Fluxbox Wikiの項目です。

<https://bit.ly/2Sm1PJl>

YouTubeです：MX-

フラックスボックス

V. 202205xx